

2018 年瀬戸内海沿岸の海岸生物調査

今年もやりましょう！

見て、触れて、感じて、食べて、足元の海を感じて

環瀬戸内海事務局

みんな来てね (^)/



2002年に始めた海岸生物調査、今年で17年目に入ります。今年も海岸生物調査を実施します。

引き続きご協力をお願いします。

海岸生物調査のもつ意味は何よりも、いつの間にか失われてきた豊かな海を取り戻すこと、そして気楽に誰でもできる調査で「足元の海」を体感することだと思っています。

☆ 見て、触れて、感じて、食べて

見て、触れて、感じて、できれば食べて、足元の海を共に感じてください。そして、海の生き物たちが、環境の変化に如何に敏感に反応するか見て下さい。とりわけ、海の生物たちに触れ合う機会が少ない子どもたちに、触れ合う場を提供していきたいと思えます。

☆ あなたが生物調査リーダーに！

これまで調査活動に参加してきた皆さん、ぜひともリーダー役になって下さい。まずは、これまで各地で生物調査にご協力頂いた皆さんに、引き続き調査をお願いします。

☆ 生物は環境の変化に敏感です

私たちの海岸生物調査の中でも、香川県豊島の

不法投棄産廃現場北海岸で、2002年に産廃の汚染水が遮断されるや、二枚貝やアマモが復活、翌年にはイカの産卵が、見られました。また、愛媛県今治市吉海町では2005年末、塩川跡地に鉄鋼スラグが持ち込まれ、導水路のカキや二枚貝が死に、住民の反対で撤去されるや、急速に回復しました。

足元の海に生息する生物を、市民の目線で知ることが重要と思っています。

☆ 潮時表を見て、「大潮の日」に調査を

潮時表（海上保安庁作成の全国潮時湾マップ）を見れば、あなたの住む地域の大潮の日がわかります。生物調査にそれぞれの地域での絶好の日程・時刻を今から設定してください。

これまで各地で協力して頂いている皆さん、今年も宜しくをお願いします。

調査日程や調査結果を下記連絡先までお願いします。

= 連絡先 =

環瀬戸内海会議

海岸生物調査担当 坂井 章

E-mail kanseto-cyousa

@setonaikai-japan.net

海岸生物調査のお願い

みんなで見つめる「瀬戸内海」渚の生物ウォッチング 皆さん近くの海岸の健康度をチェックしませんか！

環瀬戸内海会議・瀬戸内法プロジェクトでは、住民による海岸生物調査を2002年度から開始し瀬戸内海全域で実施しています。河川では水性生物の種類でその河の健康度（汚れ具合）をチェックする方法は確立されていますが、海健康度を海岸生物でチェックすることは殆ど行われていません。この調査の継続的实施は非常に重要な資料となります。

今年も春から夏の大潮の時期に海岸生物一斉調査を予定しています。皆さんのご協力で各地での調査の継続をお願いします。

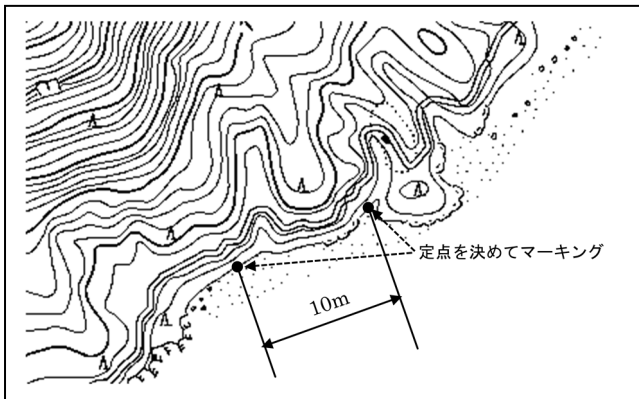
調査日時決定には、もよりの潮時表を参照してください。

調査方法

① 個体数の調査

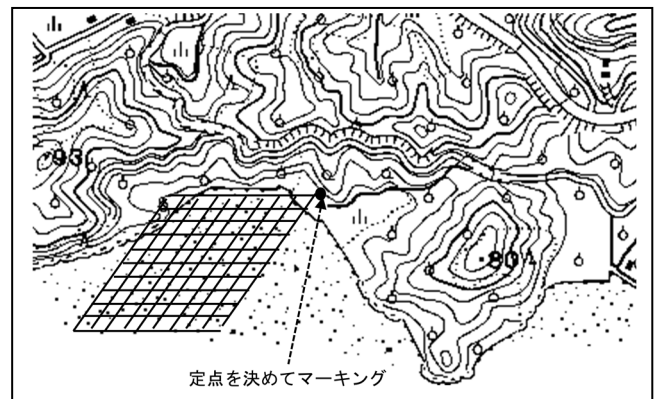
イボニシ・カメノテ

海岸10mの範囲で個体数を数える。



アサリ

調査定点内からランダムに2～3箇所を決めて1㎡内の個体数を平均する。



② 指標生物の確認 次の生物の有無を確認する。

海岸生物：カメノテ、イボニシ、オオヘビガイ、クロフジツボ
マガキ、ケガキ、ムラサキイガイ、ムラサキウニ

海藻：アマモ、アナアオサ

③ その他確認できた海岸生物名をわかる範囲で記入してください。

※調査結果は裏の調査表に記入し、下記プロジェクト生物調査担当・坂井まで送って下さい。
また、調査地点を記入した地図を添付して頂けると助かります。

環瀬戸内海会議

海岸生物調査担当 坂井 章

E-mail : kanseto-cyousa

@setonaikai-japan.net

海岸生物調査表 (年)

調査日時		調査氏名	
調査地点住所		責任者	連絡先
浜、磯の通称		調査人数	

※調査地点がわかる地図を添付してください。

個体数の調査(定点での)

個体数		潮の種類	
カメノテ	(個/10m)	干潮時間	
イボニシ	(個/10m)	潮位	
アサリ	(個/1㎡)	天気	

指標生物の確認(見つかったら多い・少ない・いないのどれかを○で囲む)

カメノテ			イボニシ			オオヘビガイ			クロフジツボ		
大きさ4cm。岩礁帯の割れ目に密集して付着している。			大きさ3cm。潮間帯の岩礁に見られ、殻の口の中が黒っぽい。			大きさは5cm。潮間帯の岩の上しっかりとついている。			大きさ1cm。岩礁帯についています。		
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない
											
マガキ			ケガキ			ムラサキイガイ			ムラサキウニ		
大きさ20cm。岩、くい、防波堤などにつく。			大きさ10cm。殻の表面にパイプ状の突起がある。			大きさ8cm。潮間帯の防波堤、岸壁などに群がってつく。			大きさ7cm。各地の岩礁に見られ、トゲは強く表面はなめらか。		
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない
											
アマモ			アナアオサ			その他の見られた生物及び気付いたこと					
大きさ0.5~1m。沿岸の内湾にみられる。			大きさ20~30cm。潮間帯の下に繁茂し、大小の穴ができる。								
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない						
											

◎ 個体数の調査 イボニシ、カメノテは海岸10mの範囲で個体数を数える。
アサリはランダムに2~3か所を決めて、1㎡内の個体数を平均する。

《参考》 上記の他に確認できた生物に○を付けてください。

- カニ類 ハクセンシオマネキ、スナガニ、コメツキガニ、イソガニ、オサガニ、マメコブシガニ
- ヒトデ類 アカヒトデ、マヒトデ、イトマキヒトデ、ニホンクモヒトデ
- マキ貝類 タマキビ、スガイ、イシダタミ、コシダカガンガラ
- カサ貝類 マツバガイ、ヒザラガイ、ウノアシガイ
- その他 イソギンチャク類、カサネカンザシ、パフンウニ、カシパン類

この表は環瀬戸内海会議が実施している調査表です。
初心者の方でも容易に参加できますので、是非、干潟で遊びながら調査してみてもは。(*^*)v